

大阪府高次脳機能障がい支援普及事業  
支援拠点機関 障がい者医療・リハビリテーションセンター  
医療部門：大阪府立急性期・総合医療センター

高次脳機能障がい外来OT認知訓練 支援実施状況  
(平成20年5月～平成25年3月末)

大阪府立急性期・総合医療センターでは平成20年5月より、高次脳機能障害支援普及事業、大阪府高次脳機能障がい支援拠点機関：障がい者医療・リハビリテーションセンター・医療部門として高次脳機能障がい外来OT認知訓練を実施している。平成25年3月末現在の支援状況について以下に報告する。

1. 対象者

高次脳機能障がいの支援について障がい者医療・リハビリテーションセンターに相談をされた方の中で、受傷・発症から概ね6か月以内であり、大阪府立急性期・総合医療センターのリハビリテーション科の医師の診察によって外来OT認知訓練の処方が出された方。

2. 目的・内容

高次脳機能障がいに対して認知機能の改善・代償手段の獲得・障害の認識を高めることを目的に週2回・1回60分・3ヶ月間実施する。訓練開始時に大阪府障がい者自立相談支援センター(以下相談支援C)にて高次脳機能障がい支援コーディネーターと面談の場を設け支援の連携をはかる。

3. 支援状況

平成25年3月末現在までの訓練対象者は、男性83名・女性28名、平均年齢39.1歳、訓練開始時の受傷・発症からの期間(慢性度)は229日(7.6ヶ月)である。111名のうち98名が訓練を終え、13名が訓練中である。表1～3に対象者の詳細を示す。

4. 訓練終了後のフォローと進路

訓練終了後、高次脳認知訓練実施結果についてリハビリテーション科担当医師の診察を受け、その後、相談支援Cにて今後の進路も含めた相談を実施する。必要に応じて継続的な相談支援もおこなっている。

平成25年3月末現在までの訓練終了者100名の終了後の進路については表4に示す。

OT外来認知訓練対象者資料

表1:疾患 (H25年3月末現在)

疾患	(人)	(%)
脳血管障害	30	27
外傷性脳損傷	62	56
脳腫瘍	4	4
低酸素脳症	5	4
脳炎	8	7
その他	2	2
計	111	100

表2:性別 (H25年3月末現在)

性別	(人)	(%)
男	83	75
女	28	25
計	111	100

表3:年齢 平均年齢:39.1歳 (H25年3月末現在)

年齢	(人)	(%)
0~10歳代	19	17
20歳代	19	17
30歳代	18	16
40歳代	17	15
50歳代	25	23
60歳以上	13	12
計	111	100

表4:訓練終了後の社会復帰状況 (25年3月31日末現在)

社会復帰状況	人数	(%)
就労	31	31
就労準備中	10	10
復学	13	13
復学準備中	2	2
自立センター	10	10
作業所等への通所	9	9
その他	25	25
計	100	100